

2024年度の「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」
に基づく主な取組状況について

2025年7月11日



筑邦銀行は、「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」のもと、お客さまにご満足いただける質の高い金融サービスの提供に取り組んでおります。

当行の2025年3月末時点における本方針に基づく「『お客さま本位の業務運営に関する基本方針』に基づく取組状況」および「比較可能な共通KPI」を公表いたします。

「顧客本位の業務運営にかかる原則」に基づく筑邦銀行の基本方針

1. お客さまの最善の利益の追求（原則2）

- (1) 投資信託の販売額および残高の推移
- (2) 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率
- (3) 積立投信契約者数・年間振替金額の推移

2. 利益相反の適切な管理（原則3）

3. 手数料等の明確化（原則4）

4. 重要な情報の分かりやすい提供（原則5）

5. お客さまにふさわしいサービスの提供（原則6）

- (1) 投資信託ラインナップ
- (2) 投資信託ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率
- (3) 生命保険ラインナップ
- (4) お客さま向けセミナー・運用報告会実施回数

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等（原則7）

FP1級・FP2級の資格取得者数

7. 共通KPI

- (1) 投資信託の運用損益別顧客比率
- (2) 投信信託預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」「リスク・リターン」
- (3) 外貨建保険の運用損益別顧客比率
- (4) 外貨建保険預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」

1. お客様の最善の利益の追求

<取組方針>

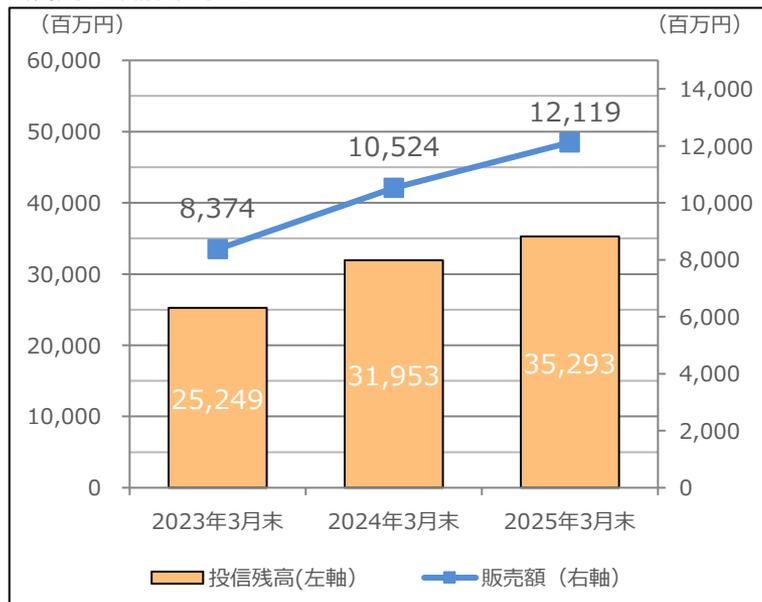
- ・ 筑邦銀行は、「質の高い金融サービスの提供」を実行していくために、創意と工夫を活かし、お客様のニーズにお応えするために、質の高い金融商品、サービス、情報を提供できるように取り組んでまいります。

<取組内容>

- ・ お客様のライフプランや投資経験、資産状況、知識、投資の目的等を十分に把握し、お客様に最適な金融商品を提供できるよう努めております。
- ・ 資産運用を安定的に運用する「コア（守りの投資）」とリスクをとって高いリターンをめざす「サテライト（攻めの投資）」とに分け、バランスよく組合せながら、長期的な観点で資産を増やしていく「コア・サテライト運用」をご提案しております。
- ・ お客様のライフイベント、投資目的に応じた資産形成のため、「長期・積立・分散投資」のご提案に努めてまいります。
- ・ お客様に長期的に安心してお取引いただけるよう、定期的にアフターフォローを行い、お客様の資産形成・資産運用のお役に立つ情報提供やアドバイスの高度化に努めております。

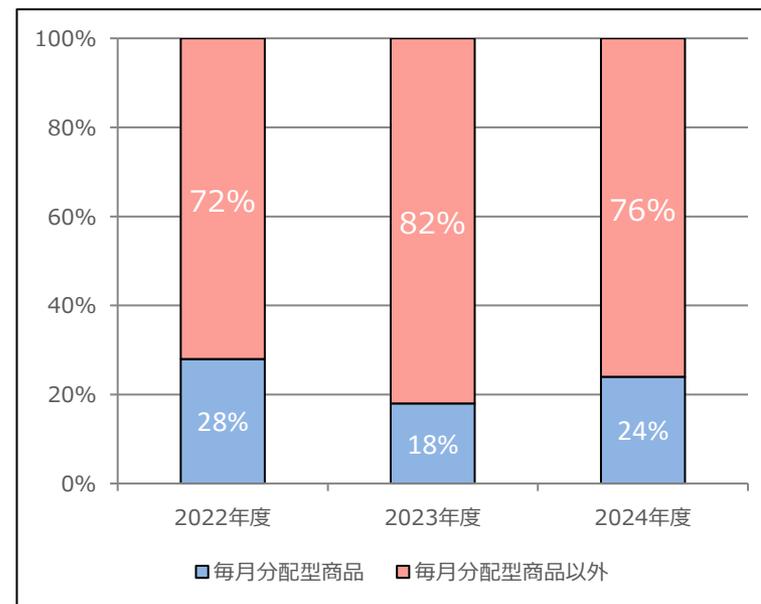
(1) 投資信託の販売額および残高の推移

NISAを活用した中長期の資産運用や積立投資の提案により、残高は増加しています



(2) 投信販売における毎月分配型商品と毎月分配型商品以外の販売額比率

NISA制度、及び複利を活かした効率的な運用提案を実施しています

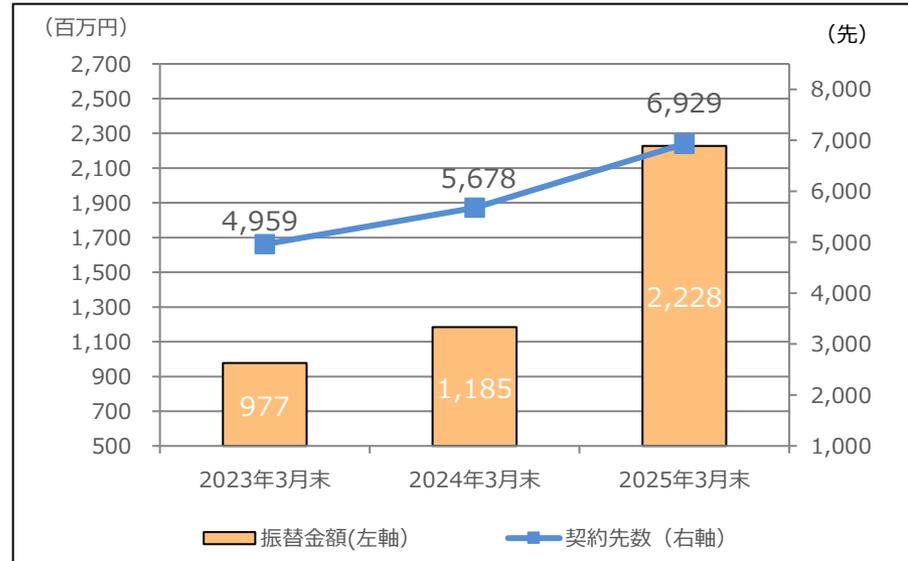


※投資信託残高は各年度末時点での時価評価額です

1. お客様の最善の利益の追求

(3) 積立投信契約先数・年間振替金額の推移

お客様へ長期・積立・分散投資による資産形成を推進しています。なお、主に税制優遇が受けられるNISAのつみたて投資枠を利用した積立投資をご提案しています。



(参考) 資産運用シミュレーション

お客様の資産形成の目的、目標金額をヒアリングし、将来のライフプランに応じたポートフォリオ、積立金額のご提案を行っております。



The screenshot shows the main menu of the asset simulation tool. It features three main steps: 1. 将来のイベント (Future Events), 2. 〇年後までにいくら (How much by the 〇th year), and 3. リタイア生活 (Retirement Life). Below these, there are 16 event categories with icons: 結婚 (Wedding), マイホーム購入の頭金 (Down payment for home purchase), 子どもの中学・高校の学費 (Middle and high school tuition), 家のリフォーム (Home renovation), 夫婦で年に一度の海外旅行 (Annual overseas travel for couple), マイカー購入 (Car purchase), 出産 (Childbirth), 年に一度の家族旅行 (Annual family travel), 子どもの大学入学・学費 (University tuition), 退職後の生活費 (Post-retirement living expenses), 子どもの小学校学費 (Elementary school tuition), 急な出費 (Emergency expenses), 親の介護費用 (Elder care costs), and 配属者の死亡(葬式費用) (Death of beneficiary (funeral costs)).



The screenshot shows the input and output screen of the asset simulation tool. It includes a progress bar with four steps: STEP1 (選択済) 資産運用シミュレーション, STEP2 (選択済) 資産配分の確認, STEP3 (未選択) フラントを選ぶ, and STEP4 (未選択) ポートフォリオの完成. The main input section is titled "運用期間、最初に投資できる金額、毎月の積立金額を入力して「資産配分の確認」ボタンを押してください。" (Enter the investment period, the amount you can invest initially, and the monthly contribution amount, then click the "Check Asset Allocation" button). The input fields are: 運用期間 (Investment Period) set to 20 years, 最初に投資できる金額 (投資元金) (Initial investment amount (investment principal)) set to 300万円, and 毎月の積立金額 (Monthly contribution amount) set to 3万円. Below these are checkboxes for "積み立てしない(一度で投資する)" (Do not save up (invest once)) and "積み立て" (Save up) with a "7%" rate. There are also buttons for "リセット" (Reset), "< 戻る" (Back), and "資産配分の確認 >" (Check Asset Allocation).

<取組方針>

- お客様の利益を不当に害することがないよう取引を特定して分類し、対象取引の管理方法を明確化した上で、お客様の利益が不当に害されることが無いように適切な管理を行ってまいります。
- 「利益相反管理方針の概要」については、当行のホームページに (<https://www.chikugin.co.jp/about/riekisouhankanri/>) 概要を公表しております。

<取組内容>

- お客様の利益を不当に害することがないよう、お客様との利益が相反する可能性を正確に把握し、適切な管理を行っております。
- 乗換取引にかかるモニタリングを実施しています。
- お客様にご提供する商品・サービスの選定にあたり、不当に特定の商品提供会社に偏ることが無いよう、担当部署により検証を行っております。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

<取組方針>

- お客さまに金融商品、サービス、情報を提供するにあたり、商品特性やリスク・リターン、経済環境や市場動向等について、適切で十分な情報を提供してまいります。
- 商品のご提案においては、お客さまの投資経験や財産状況、商品リスク度合い等を考慮して、分りやすく丁寧な説明を行ってまいります。また、複雑な金融商品またはリスクの高い金融商品の販売・推奨などを行う場合には、より丁寧な情報提供に努めてまいります。

<取組内容>

- お客さまに金融商品をご提案する際には、商品提案ツール等を活用し、商品特性やリスクの内容、手数料および市場動向等、投資判断に資する十分な情報提供に努めております。

お客さまへの情報提供では、パンフレットや目論見書等のほか、タブレット等を活用し、商品の特性、運用実績、リスクとリターンの関係、手数料等十分ご理解いただけるように丁寧な説明に努めております。

【商品比較】

分類	バランス型	バランス型	バランス型
ファンド名	投資のソムリエ	のむらっフファンド(普通型)	世界経済インデックスF
分散投資比率	33%	33%	33%
投資金額・証券を売買	(100万円)	(100万円)	(100万円)
運用会社	アゼマONE	野村	三井住友TAM
基準価額 (2023/06/29)	10,611円	24,660円	32,054円
総資産 (2023/06/29)	489,763百万円	277,349百万円	209,399百万円
ファンド レーティング	**	***	***
トータルリターン 1年	-5.15%	3.22%	6.37%
トータルリターン 3年(基準)	-3.63%	9.13%	10.79%
トータルリターン 5年(基準)	-0.41%	5.83%	6.73%
トータルリターン 10年(基準)	0.78%	5.77%	5.80%
リスクメジャー	1 (低い)	2 (やや低い)	3 (平均的)
シャープレシオ 1年	-0.97	0.34	0.71
シャープレシオ	-0.91	1.01	1.27

※上記は過去の運用実績を元にした情報であり、将来の運用実績を予測するものではありません。
上記の情報は個別のウェブサイトやサービスから自動的に集計している情報です。詳しくは運用会社にお問い合わせください。

【運用実績】



【リスク・リターン】



<取組方針>

- お客様の投資経験、財産状況、知識、投資の目的などをお伺いし、それぞれのお客様に適した金融商品・サービスのご提案を行ってまいります。

<取組内容>

- 新たな金融商品・サービスを導入する際は、お客様の属性を踏まえたうえで、商品性、リスクの程度、仕組みの複雑さがお客さまにとって許容できる適正なものであるか等検証を行い、商品ラインナップの整理、強化に努めております。また、金融商品等の組成会社と継続的に連携して、よりよい金融商品等の提供に貢献してまいります。なお、当行は運用会社が提供する投資信託を導入しており、商品の組成業務を行っておりません。
- 2025年4月以降、投資信託を実際に購入されたお客様の属性情報や販売状況等の情報について、個人を特定できない形で投資信託の組成会社に連携する取り組みを継続的に実施し、組成会社におけるお客様の最善の利益に適った商品設計を後押しいたします。
- ウェルズアドバイザー社による、取扱いファンドの定量・定性両面から運用状況等のモニタリングを実施いたします。

5. お客さまにふさわしいサービスの提供

(1) 投資信託商品ラインナップ

種別		2023年3月末		2024年3月末		2025年3月末	
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
国内	債券	3	3.5%	2	2.4%	2	2.4%
	株式	11	12.6%	9	11.0%	9	11.0%
	REIT	1	1.2%	2	2.4%	2	2.4%
海外	債券	15	17.2%	13	15.9%	13	15.9%
	株式	44	50.6%	43	52.4%	43	52.4%
	REIT	3	3.4%	4	4.9%	4	4.9%
バランス		10	11.5%	9	11.0%	9	11.0%
合計		87	100%	82	100%	82	100%
うちつみたて投資枠対象		11	12.6%	13	15.8%	13	15.8%

(2) 投資信託ラインナップにおける毎月分配型商品以外の比率

種別	2023年3月末		2024年3月末		2025年3月末	
	商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比
毎月分配型商品以外	60	69.0%	62	75.6%	62	75.6%
毎月分配型商品	27	31.0%	20	24.4%	20	24.4%
合計	87	100%	82	100%	82	100%

(3) 生命保険ラインナップ

種別		2023年3月末		2024年3月末		2025年3月末		
		商品数	構成比	商品数	構成比	商品数	構成比	
一時払	円建	4	33.3%	7	53.8%	7	53.8%	
	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	定額年金	0	0.0%	2	15.3%	2	15.3%	
	終身保険	4	33.3%	5	38.4%	5	38.4%	
	外貨建	8	66.7%	6	46.1%	6	46.1%	
	変額年金	2	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	
	定額年金	3	25.0%	2	15.3%	2	15.3%	
	終身保険	3	25.0%	4	30.7%	4	30.7%	
	合計		12	100%	13	100%	13	100%
	平準払	学資保険	0	0.0%	1	7.6%	1	7.6%
年金保険		3	30.0%	2	15.3%	2	15.3%	
終身保険		3	30.0%	4	30.7%	4	30.7%	
収入保障保険		1	10.0%	1	7.6%	1	7.6%	
医療・がん・介護保険		3	30.0%	5	38.4%	5	38.4%	
合計		10	100%	13	100%	13	100%	

5. お客様にふさわしいサービスの提供

<お客様のライフプラン等を踏まえた金融商品やサービス、ポートフォリオの提案>

お客様への資産形成のご提案にあたっては、資産運用アドバイスツール「Wealth Advisor」を導入し、「ライフプランシミュレーション」や「ロボアドバイザー」等の機能を活用し、お客様のライフプランにおいて想定される支出や資産ポートフォリオ等についてわかりやすく説明しております。

○資産運用アドバイスツール「Wealth Advisor」



<お客様のニーズに沿ったアフターフォローの実施>

お客様の預かり資産の状況（保有残高・評価損益等）や市場環境等をご説明し、ご不安の解消及び今後の運用方針等をご相談させていただくため、一定の基準を設けて実施しています。

商品	種類	実施内容
投資信託	定期的なアフターフォロー	お客様の保有資産の状況やご年齢に応じて定期的にアフターフォローを実施しています。
	相場急変時のアフターフォロー	市場動向の急変や市場に重大なインパクトを与える事象が発生し、投資信託の基準価額に重大な影響を与えた場合などに実施しています。
生命保険	定期的なアフターフォロー	原則、ご契約後1年経過時以降、毎年契約月に実施しています。
	その他アフターフォロー	本部からの指示により特定の商品を保有されているお客様を対象に実施しています。

5. お客様にふさわしいサービスの提供

<アプリを活用した情報提供>

お客様の投資信託取引の利便性向上を図るため、ちくぎんアプリにてお客様が投資した金額に対する運用損益（トータルリターン）や運用損益率を確認できるようになりました。

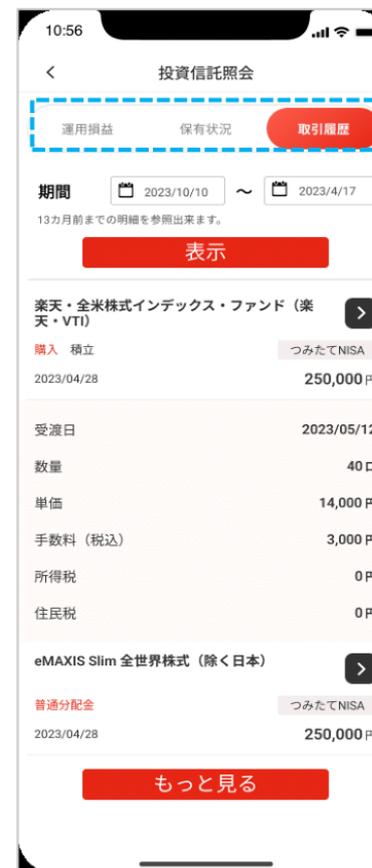
【運用損益】



【保有状況】



【取引履歴】



5. お客様にふさわしいサービスの提供

- お客様セミナーを定期的に行い、最新のマーケット動向や個別商品の運用状況の報告、贈与、相続など、お客様のお役に立つ情報の提供に努めております。
- 2024年度は、NISA制度改正に伴い、NISA制度の概要、非課税投資枠を活用した資産運用のセミナーをさらに積極的に行いました。
- 今後も随時お客様向けセミナーを開催予定であり、お客様の資産形成、金融リテラシーの向上において有益な情報提供に努めてまいります。

(4) お客様向けセミナー・運用報告会実施回数

2022年度	2023年度	2024年度
6	19	40

<セミナーの主なテーマ>

項目	内容
資産運用セミナー	・長期投資について ・新NISAの仕組み
職域セミナー	NISAを活用した資産運用について
マーケットセミナー	ハイテググロス株とマーケットの展望
学生向け金融セミナー	金融教育 (使う・ライフプラン、ためる、借りる、金融トラブル)
相続セミナー	相続に関する個別相談会

<お客様向けセミナーのご案内チラシ>



ちくぎん
マネー相談会

投資信託って
もうかるの？

将来に向けて
お金を準備したい！

9月20日(金)
11:30
会場 厚生

お気軽にご相談ください

お客様向け個別相談会

このようなお困りごと、お悩み事はありませんか？

- 遺言書の書き方がわからない
- 財産を託したい又は託したくない家族がいる
- 不動産と山があるんだけど価値ってどれくらい？
- 今からできる相続対策を知りたい などなど

相続は人生何度も経験することではありません。馴染みがなく分かりづらいと感じられると思います。だからこそ、少しでも相続が行滞に行えるよう、今から準備しておくことが大事です。ぜひ、専門家へお気軽にご相談ください。

お客様セミナー

月4日(水) 10:00～
間 5組までとします)
※事前予約制

州都相続センター

本店 2階応接室
〒100-0001 東京都千代田区千代田2-4-6 2F
TEL: 0942-32-5331

お申し込みは
担当者までご連絡ください

筑邦銀行

6. 従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

<取組方針>

- 当行は、お客さまに対してより高度な情報を提供できるよう、行員向け教育研修の実施や自己啓発の支援を行い、全行行員の知識向上に努めてまいります。

<取組内容>

- 金融のプロフェッショナルとしての幅広い金融知識による質の高いコンサルティング提案を実践するため、FP資格の取得を推奨しています。
- 多様化・高度化するお客さまニーズにお応えするため、各種研修・ロールプレイング等の実施を通じてコンサルティング力向上に向けた人材育成に努めています。

FP 1級・FP2級の資格取得者数

2022年度	2023年度	2024年度
203人	214人	270人

7. 共通KPI（投資信託）

（1）投資信託の運用損益別顧客比率



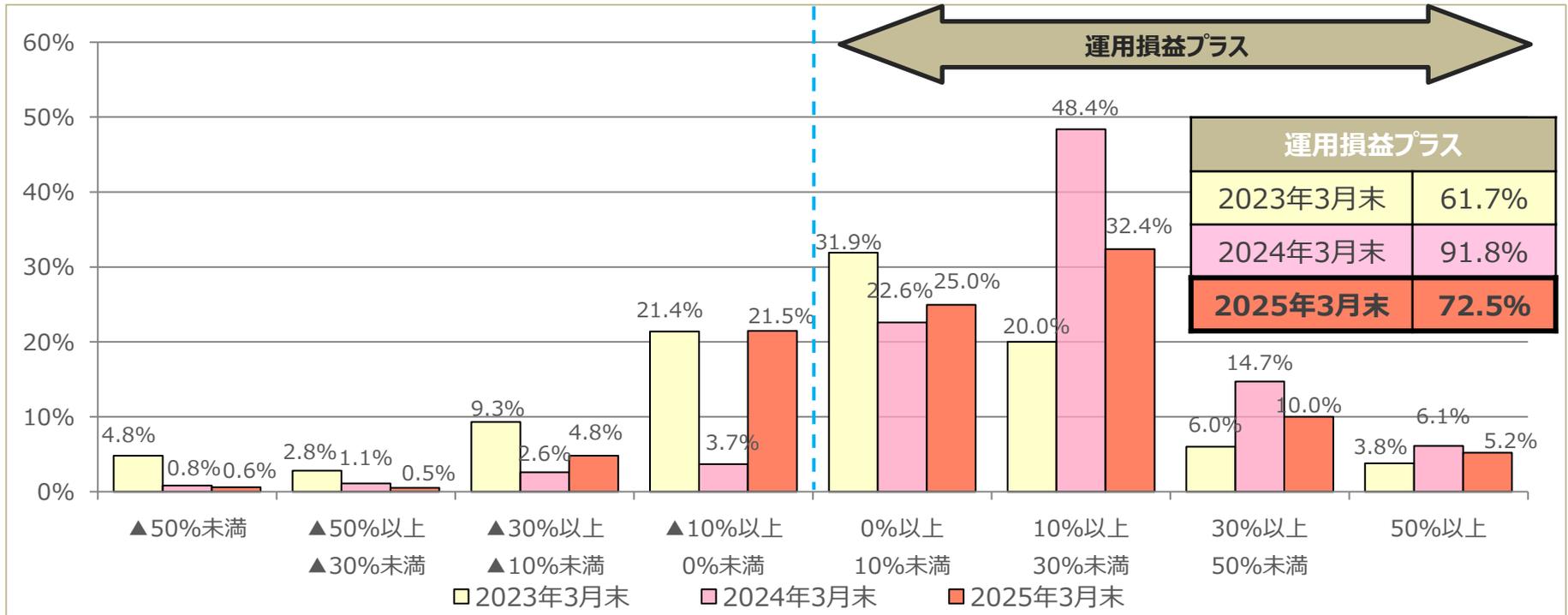
比較可能な共通KPIについて

金融庁から公表されているお客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選定する上で比較可能な統一的な指標である3つの指標（以下、「共通KPI」）が公表されました。

（1）運用損益別顧客比率

投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託における購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。

2025年3月末基準で運用損益がプラスになっているお客さまの比率は72.5%となりました。



- 2023年3月末、2024年3月末、2025年3月末時点で、当行で投資信託残高を保有している個人のお客さまの取引を対象
- 運用損益は[基準日時点の評価金額 + 累計受取分配金額（税引後） + 累計売付金額 - 累計買付金額] ÷ 基準日時点の時価評価額で計算
- 基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
- 当該銘柄の購入当初まで遡及

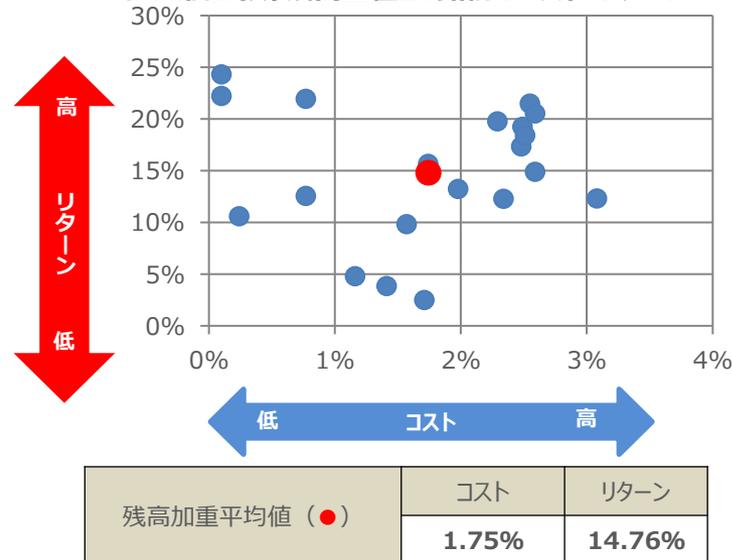
7. 共通KPI (投資信託) (2) 投資信託預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」「リスク・リターン」

2025年3月末時点における投資信託預り残高上位20銘柄の平均コストは1.75%、平均リスクは14.16%、平均リターンは14.76%となりました。

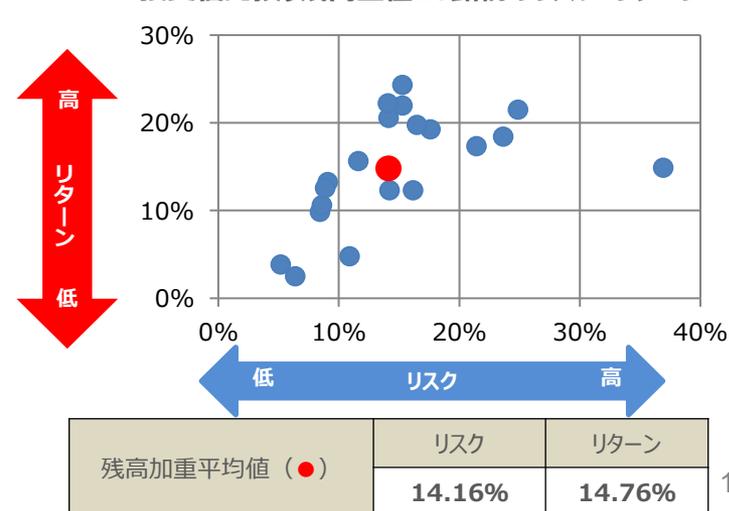
■ 投資信託預り残高上位20銘柄 (2025年3月末)

No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	のむらップ・ファンド(積極型)	1.74%	11.61%	15.64%
2	のむらップ・ファンド(普通型)	1.57%	8.43%	9.83%
3	新光US-REITオープン	2.34%	16.15%	12.28%
4	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.77%	15.28%	21.95%
5	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	2.49%	17.61%	19.23%
6	ひふみワールド+	2.29%	16.47%	19.75%
7	ニッセイAI関連株ファンド(為替ヘッジなし)	2.55%	24.86%	21.49%
8	野村6資産均等バランス	0.24%	8.60%	10.59%
9	みずほUSハイイールドオープンBコース(為替ヘッジなし)	1.98%	9.08%	13.22%
10	グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)	2.59%	36.92%	14.87%
11	MHAM米国好配当株式ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし	2.59%	14.14%	20.53%
12	SBI・全世界株式インデックス・ファンド	0.10%	14.09%	22.20%
13	ロボット・テクノロジー関連株ファンドーロボテックー	2.48%	21.43%	17.33%
14	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51%	23.64%	18.41%
15	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.71%	6.37%	2.49%
16	たわらノーロード先進国株式	0.10%	15.27%	24.29%
17	のむらップ・ファンド(保守型)	1.41%	5.18%	3.84%
18	グローバルヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.21%	12.31%
19	世界経済インデックスファンド	0.77%	8.87%	12.54%
20	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.16%	10.91%	4.77%

■ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



■ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



○当行で取扱いしている投資信託のうち、設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとおよび預り残高加重平均のコストとリターン、リスクとリターンの関係を示した指標です。

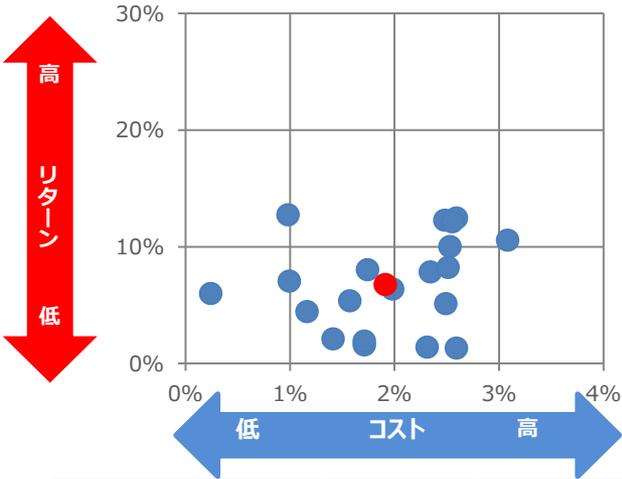
- コスト : 販売手数料率の1/5 + 信託報酬率
- リスク : 過去5年間の月次リターンの標準偏差 (年率換算)
- リターン: 過去5年間のトータルリターン (年率換算)

7. 共通KPI (投資信託)

投資信託預り残高上位20銘柄の
「コスト・リターン」「リスク・リターン」(過去3年分)

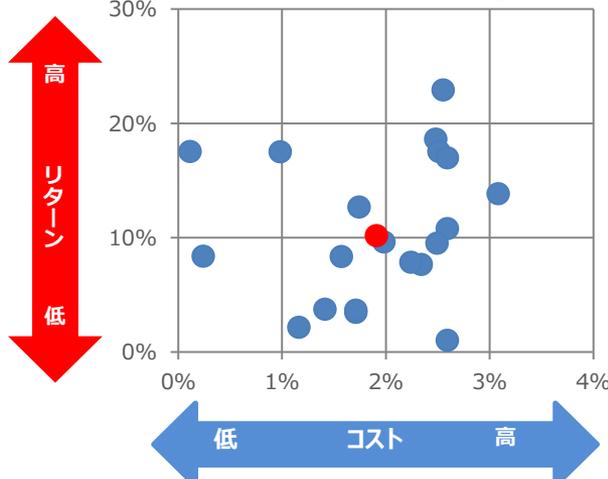


【2022年3月末時点】



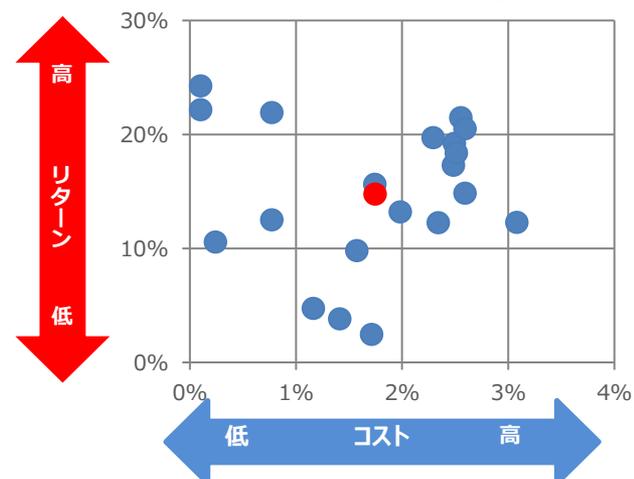
残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.91%	6.76%

【2023年3月末時点】

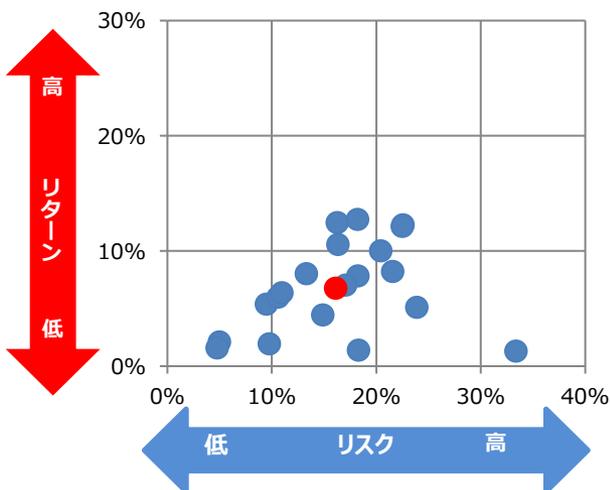


残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.91%	10.19%

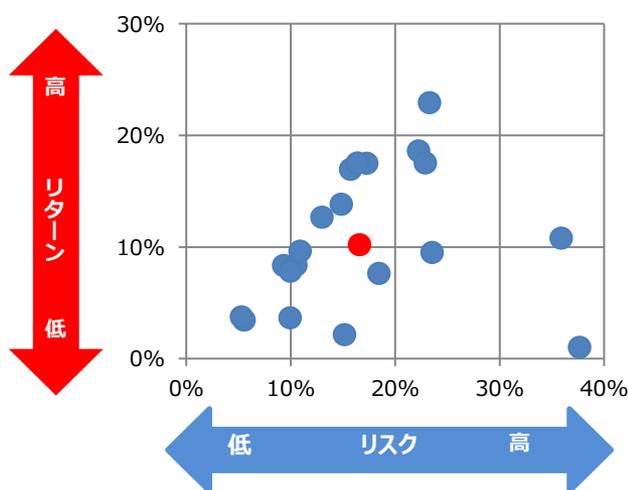
【2024年3月末時点】



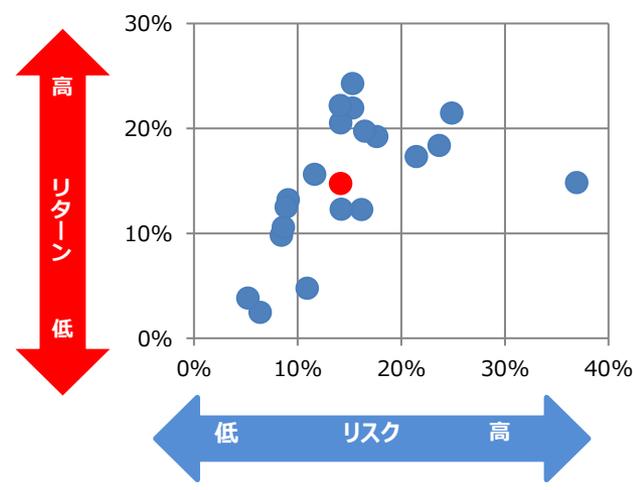
残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.75%	14.76%



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	16.10%	6.76%



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	16.58%	10.19%



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	14.16%	14.76%

7. 共通KPI（外貨建保険）

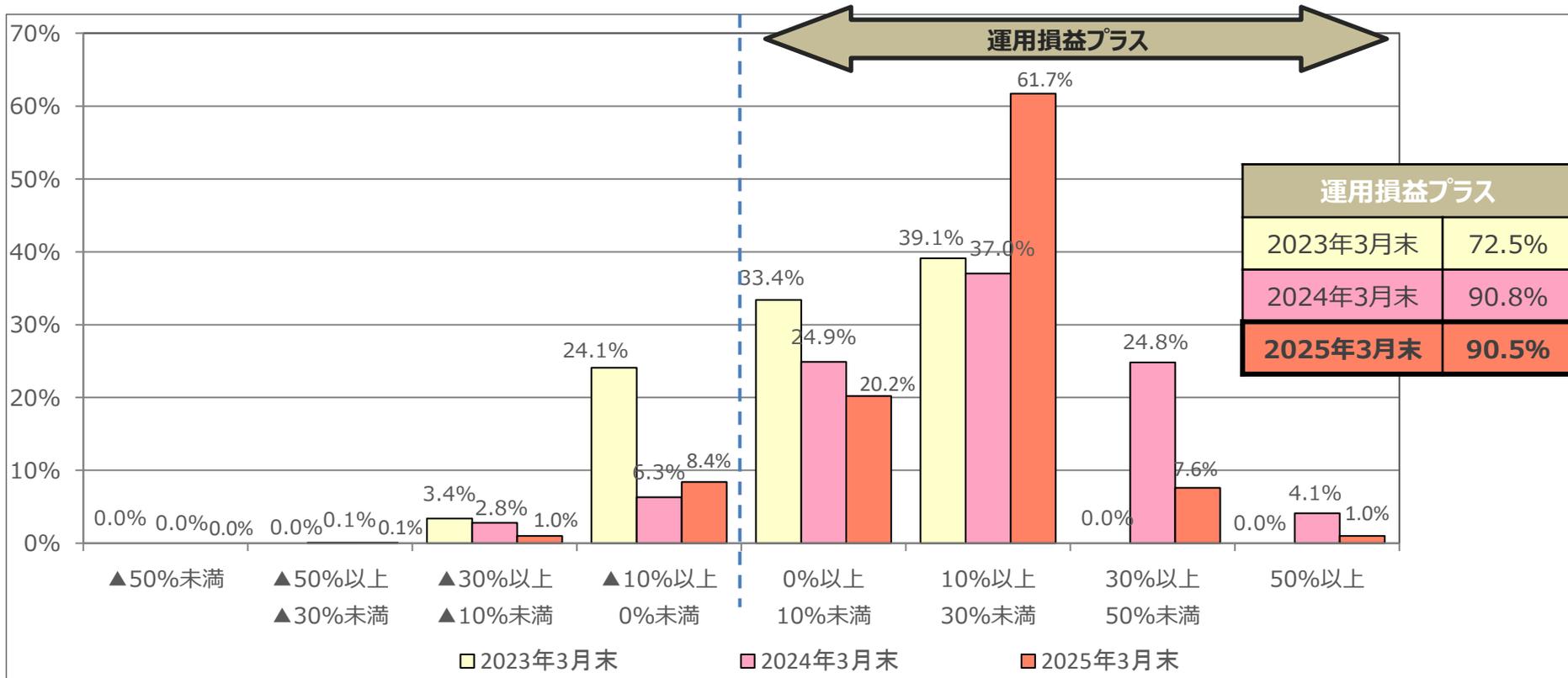
(3) 外貨建保険の運用損益別顧客比率



(3) 外貨建保険の運用損益別顧客比率

基準日に外貨建一時払保険を保有しているお客さまについて、運用評価（契約時以降のリターン）を算出し、全てのお客さまを100%とした場合の運用評価別のお客さま分布を示したものです。基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。

2025年3月末時点で外貨建て保険を保有されているお客さまのうち、90.5%のお客さまの運用評価がプラスとなっています



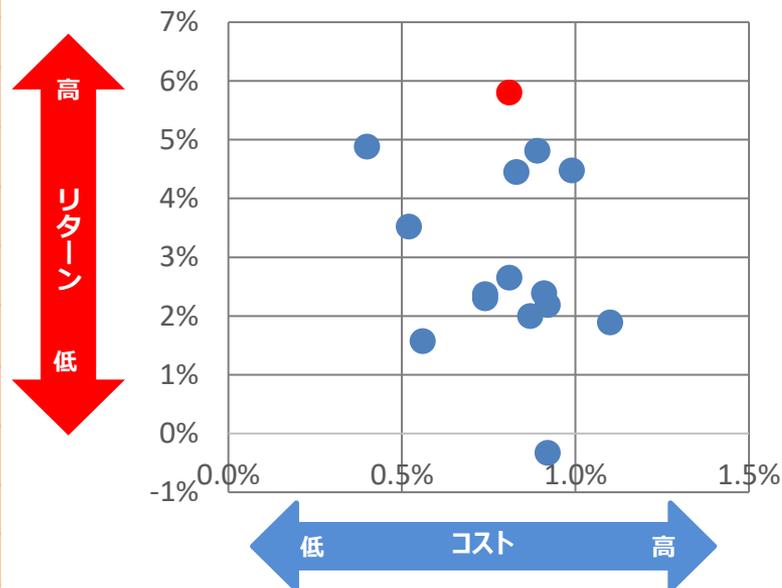
■ 運用評価率は、 $(\text{基準日の解約返戻金額} + \text{基準日の既支払金額} - \text{契約時点の一時払保険料}) \div \text{契約時点の一時払保険料}$ （いずれも円換算）で算出しております。
 ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は、長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
 ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

7. 共通KPI（外貨建保険）（4）外貨建保険預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」

2025年3月末時点における外貨建保険の銘柄別平均コストは0.81%、平均リターンは5.80%となりました。

（2025年3月末基準）

No	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアシーブ（外貨建）	0.83%	4.45%
2	プレミアプレゼント	0.87%	2.00%
3	ロングドリームGOLD 3	0.99%	4.48%
4	ファイブ・ステップUS	0.40%	4.88%
5	ロングドリームGOLD 2	0.89%	4.81%
6	プレミアベスト	0.91%	2.39%
7	ロングドリームGOLD	0.74%	2.37%
8	プレミアストーリー 2	0.74%	2.30%
9	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	1.10%	1.89%
10	ロングドリームプラス	0.52%	3.52%
11	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	0.81%	2.65%
12	プレミアカレンシー3	0.92%	-0.33%
13	プレミアカレンシー・プラス2	0.92%	2.19%
14	アドバンテージ・セレクトPG	0.56%	1.57%



残高加重平均値（●）	コスト	リターン
	0.81%	5.80%

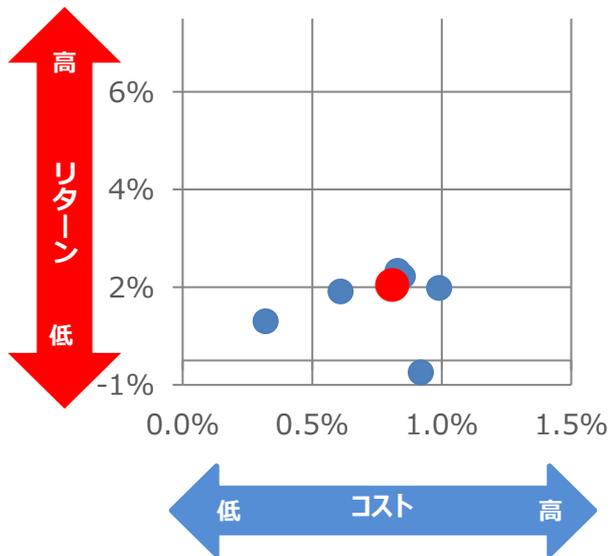
- 当行が募集を行った外貨建一時保険のうち、基準日に5年以上経過している契約で基準日時点の解約返戻額+基準日時点の既支払額の合計額で上位銘柄のコストとリターン関係を示したものです。
- 基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）は除外しています。
- 各銘柄のコストは、基準日に5年以上経過している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均して算出しています。
- 各銘柄のリターンは、基準日に5年以上経過している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する基準日時点の解約返戻金額+基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを各契約の一時払保険料で加重平均して算出しています。

7. 共通KPI (外貨建保険)

外貨建保険預り残高上位20銘柄の「コスト・リターン」

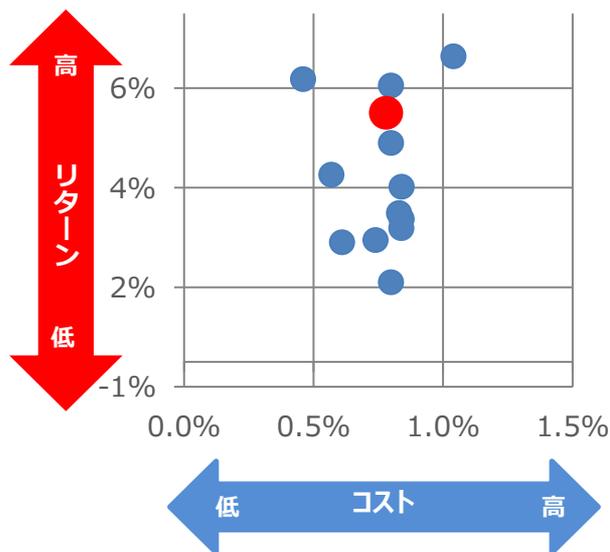


【2023年3月末時点】



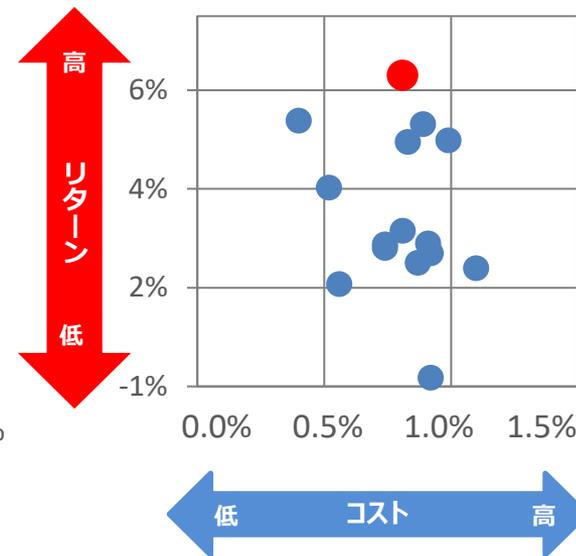
残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	0.81%	1.54%

【2024年3月末時点】



残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	0.78%	5.00%

【2025年3月末時点】



残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	0.81%	5.80%